

- 問1 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため
 2. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため
 3. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため
 4. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため
- 問2 北海道の農業の特色について、農家一戸あたりの耕地面積と、生産体制の関連性を説明した文として正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 耕地面積は広いが寒冷地で機械が故障しやすいため、現在でも伝統的な馬や牛を使った耕作が続いている。
 2. 耕地面積が全国平均に比べて非常に広いため、大型の機械を活用した大規模な農業が行われている。
 3. 耕地面積が全国平均より狭いため、土地を最大限に活用する集約的な施設園芸が発達している。
 4. 広大な耕地を維持するために、海外から多くの季節労働者を雇い入れる労働集約的な農業が主流である。
- 問3 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。
 2. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。
 3. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。
 4. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。
- 問4 札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 1000m
 2. 500m
 3. 750m
 4. 250m
- 問5 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 飛騨山脈
 2. 赤石山脈
 3. 奥羽山脈
 4. 日高山脈
- 問6 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 2. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 3. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。
 4. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
- 問7 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。
 2. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。
 3. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。
 4. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通過することで水蒸気が凝結するため。
- 問8 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点
 2. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点
 3. 消費地に近い利点を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点
 4. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点
- 問9 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法
 2. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法
 3. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせる栽培する手法
 4. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法
- 問10 北海道中央部を流れる石狩川の中流から下流域にかけて、かつて広く分布していた土地の名称を答えください。この土地は、寒冷な気候により枯れた植物が十分に分解されないまま積み重なったもので、水分が非常に多く栄養分に乏しいという特徴があります。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 泥炭地
 2. 三角州
 3. 盆地
 4. 台地
- 問11 人口約526万人を抱える北海道では、道庁所在地の人口が約197万人に達するなど都市部への人口集中が見られる一方で、広大な土地や気候特性を活かした新たな産業の立地が進んでいます。近年、北海道において企業の膨大な情報を管理するデータセンターの集積が進んでいる理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 周辺を流れる対馬海流の影響で冬も温暖であり、精密機器の故障の原因となる結露を防ぐのに適しているため
 2. シラスと呼ばれる厚い火山灰層に覆われた台地が広がっており、大規模な施設の建設に必要な強固な土台が得やすいため
 3. 年間を通じて気温が低くサーバーの冷却コストを抑えられることや、地震等の影響を受けにくい安定した地盤があるため
 4. 梅雨の影響を受けず夏が乾燥しており、広大な丘陵地帯を太陽光発電の適地として活用しやすいため